

# 改 畜産飼料高騰対策緊急支援事業

畜産振興課 411,030千円  
【財源:国庫(重点交付金)】

## 事業の目的

飼料価格上昇分の一部を支援することで、畜産農家の負担軽減を図り、持続可能な畜産経営を確立する。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

- ① 畜産セーフティネット対策緊急強化事業（補助率定額、上限額200円/ト）
  - ・ 配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金相当額の一部を支援
  - ・ 推進事務費
- ② 国産粗飼料緊急確保事業（補助率定額、上限額3,500円/ト）
  - ・ 大家畜経営における国産粗飼料購入費の一部を支援
  - ・ 推進事務費



### (2) 事業の仕組み

- ① 県補助 → 配飼協、JA等      ② 県補助 → 飼料流通業者等

### (3) 成果指標

畜産農家の離農率（前年比） 現状（令和6年次）6.5% → 令和8年次 4.5%

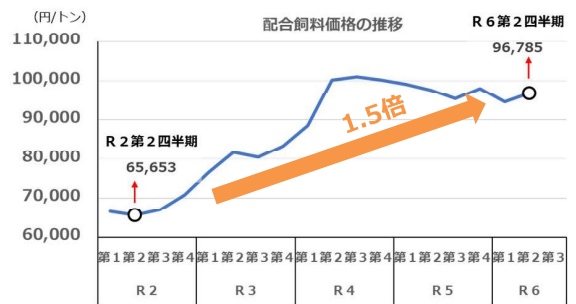
## 事業の期間

令和6年度

# 【別紙】 改 畜産飼料高騰対策緊急支援事業

## 現状・課題

- 畜産経営における生産費に占める飼料費の割合が高い  
子牛：44%、肥育牛：33%、乳用牛：52%、肥育豚：67%  
（令和5年 畜産物生産費統計）
- 近年の配合飼料等の価格高騰が畜産経営を圧迫  
配合飼料価格 約1.5倍（令和2年→令和6年）  
国産粗飼料価格 約1.3倍（令和2年→令和6年）



## 対応策

- ### ① 畜産セーフティネット対策 全畜種 緊急強化事業
- 配合飼料価格安定制度の生産者積立金相当額の一部支援



- ### ② 国産粗飼料緊急確保事業 大家畜 肉用牛・乳用牛
- 国産粗飼料を購入する際のかかり増し経費の一部を支援



## 成果

**飼料費の負担を軽減することで、畜産経営の維持を図る**